

○6月モニターレポート

日時:2013年6月30日(日) 10:00~12:00

天気:曇り

区間:矢作川右岸 34.0km~35.0km : 41.0km~42.0km

最後のレポートとなります。よろしくお願いします。

今月のレポートをもちましてこの報告が最後となりますので、担当区間の矢作川の最初と最後を見に行きました。

区間:矢作川右岸 41.0km~42.0km

平年に比べて雨量が少ないが、梅雨の時期ということで川の水量はそこそこありました。流れもそれなりに感じられ、本来の矢作川のイメージに近い印象を受けました。荒井橋の下辺りでは、数組がBBQの準備をしており、その子供たちが川で遊んでいました。夏の川の風景の定番だなと思いつつも、ゴミ(こちらも定番)が目につき気になりました。5分程度ではありますが、ゴミ拾いをしました。(写真2)
たったの5分でこれだけのゴミ(手にもてないのでそれ以上は断念)があるという現状は再三、このレポートでも伝えてきたことではありますが改めてモラルの必要性を感じました。具体的な策を投じるということではなく、マナー、礼儀、道徳、人間性によるものであり、そこに個々が気付き、全体として成り立つ環境を守ることができたらと思います。全体は、一人一人が創り出すものであり、全体が個人を創るものではないということを感じました。



写真1



写真2

区間:矢作川右岸 34.0km~35.0km

水源公園より眺める矢作川の景色を眺めながら散策している人や、ベンチで眠ってしまった子供を抱いている親、少し早めのランチをする人、それぞれに休日の川ライフを満喫している感じでした。

4月のレポートで報告しました明治用水頭首工。

そこに併設されている歩道の橋より今回のモニターを閉めることにしました。

このモニターで、今までとは違った観点で矢作川を観ることができました。

川を通じて、教えられることもあり、「今」を気付くきっかけも多々もらいました。

モニターが終わっても矢作川との付き合いは、これからも、今までも私の身近な存在として
続いていくことに変わりありません。
人の用に役立つ川として変わりつつも、自然の川として変わぬ矢作川を今後もぜひ見続けて
いきたいと思えます。

以上で全報告を終わります、ありがとうございました。



写真3



写真4



写真5